

クラス番号	619	担当教員名	齊藤 雅茂
テーマ	高齢期の社会関係と地域福祉を考える		
著書・論文 研究課題等	<p>研究課題：高齢期における社会的孤立の関連要因と孤立軽減にむけた地域福祉プログラムの評価 介護保険サービス利用における所得格差</p> <p>論文： 「同居者のいる住民基本台帳上の一人世帯高齢者の特性」『老年社会科学』33(4):印刷中(2012)／「介護保険料段階による在宅介護サービス費用の経年変化；特定自治体における2年間の介護給付実績情報より」『季刊社会保障研究』47(3):印刷中(2011)／「大都市高齢者の社会的孤立と一人暮らしに至る経緯との関連」『老年社会科学』32(4):470-480(2010)／「社会的排除と健康格差」藤村正之編著『福祉・医療における排除の多層性：差別と排除のいま』明石書店、pp149-171(2010)</p>		

ゼミナール概要

キーワード： 高齢者福祉 / 社会老年学 / 貧困・社会的排除 / 実証研究

【目的】

社会福祉の分野でもエビデンスが求められるようになり、様々な場面でデータを扱う機会が増えているように思います。本ゼミでは、社会福祉学の領域において、実証的な志向・研究スタイルを学び、習得することを目標にしています。高齢期の諸問題と地域福祉の取り組みについて研究を深めると同時に、実証研究としての作法（社会福祉調査手法など）の習得、および、プレゼンテーション技術の習得を通じて、社会福祉実践でも有用な問題解決能力を身につけることを目指します。

【方法・計画】

本ゼミでは、「高齢期の社会関係と地域福祉を考える」というテーマを中心にしながら、文献収集と輪読・プレゼンテーションを重ね、卒業論文の作成を進めます。

- －3年次の前期は、卒業論文で取り組む課題の明確化を目標にします。そのために、資料（専門書・学術雑誌等）の探し方と読み方、プレゼンテーションの技術、討論の作法について学習します。授業では、学生の皆さんが興味関心をもっているテーマに関連する論文等の輪読とディスカッションを通じて、資料を「読む」スキルの習得を目指します。また、プレゼンテーション技術については実際にソフトウェアを使って演習します。
- －3年次の後期には、卒業論文の執筆に向けた研究計画書を作成します。それと並行して、量的・質的な調査方法論と分析手法についても演習していきます。また、皆さんの問題関心に応じて、社会福祉協議会や介護保険施設等の現場職員の方といったゲスト講師の招へいや、休暇期間を利用してフィールドワークを中心とした合宿を予定しています。
- －上記の学習を踏まえた上で、4年次には、個々の関心を大切にしながら研究課題を進め、卒業論文の執筆に取り組めます。ゼミでは、各学生の進捗状況を中心に報告し合い、よりテーマが深まるようお互いに議論を重ねていきます。また、国家試験の準備期間を考慮して、なるべく早く（夏休み頃までに）卒業論文の完成を目指します。

担当教員からのメッセージ



大学生活もいよいよ後半になり、国家試験の勉強や就職活動の準備などで忙しくなってくるかと思います。しかし、当面の課題を器用にこなすだけでなく、ぜひ様々なことにチャレンジして見聞を広めて頂ければと思います。皆さんの様々な経験について、ゼミの中で共有し、お互いに成長できる場になればと考えています。

ゼミでは、自ら積極的に参加し、自ら学習を深めることが要求されます。4年間の集大成として、皆さん自身がより深めたいテーマを言語化し、自らの力で問題の答えを探求できるように、また、その成果を発表できるようにお手伝いしたいと思います。一緒に実りの多いゼミにしていきたいと思います。